

地域と医療で咲くコミュニケーション

# あまが咲

2018

10月

No.53



兵庫県立尼崎総合医療センター

Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



[診療科紹介] **小児脳神経外科**

[部門紹介] **検査部**



放射線治療装置  
True Beam (Varian社製)

[AGMC委員会・部会めぐり]

臨床カルパス委員会「ご存じですか？臨床カルパス」

- [AGMCニュース] キッズ参観日を開催しました
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき

## 小児脳神経外科

# 新生児から成人前、小児期に治療を受けられた成人までこどもの脳神経外科の専門家です

医療の専門化が進んだ現在、脳神経外科のなかでも分野毎にさらに専門性の高いサブスペシャルティー領域が発達しています。小児脳神経外科もその1つです。当科の特徴は小児脳神経外科専門の医師が、成人の脳神経外科と一体となって診療を行っていることです。各領域(脳血管障害、脳血管内治療、脊髄・脊椎、脳腫瘍、神経外傷)のエキスパートがいるので、協同することでより高度かつ適切な治療を行うことができます。また、小児から成人まで一貫して診療できます。

### 組織構成

脳神経外科医師6名



小児救急集中治療科の医師と一緒に



小児脳神経外科 科長  
脳神経外科 医長 北川 雅史

### 提供する活動内容

外来:週1回、月曜日のみですが  
緊急の患者さんは随時診察します。



こどもの診療では発達・成長の視点を持つことが重要です。小児脳神経外科では手術を行うだけではなく、その後の成長を見守ることも非常に大切です。疾患によっては、はじめから複数回の段階的手術を行う必要がある場合があります。また、手術後の成長していく過程で再度手術が必要となる場合もあります。このように短期的・長期的な視点の両方を持って、それぞれの患者さんの将来も考えながら、治療を行っています。

- 2010年4月1日 静岡県立こども病院脳神経外科副医長
- 2013年4月1日 成育医療研究センター脳神経外科フェロー
- 2014年4月1日から2年間 静岡県立こども病院脳神経外科医長
- 2016年4月1日より現職。
- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本神経内視鏡学会技術認定医
- がん治療認定医
- 髄腔内バクロフェン(ITB)療法実施医

### 患者さんや地域医療機関へのメッセージ

小児脳神経外科領域では急に発症する疾患、急に症状が悪くなる疾患があります。当院では小児集中治療科・小児科・救命救急センターと協力することで、いつでも救急対応可能となっています。お気軽にご相談ください。



## 部門紹介 検査部

# 迅速、正確、安全をモットーに 国際規格に基づいた 検査結果を提供します。

当院の検査室はISO15189の認定を取得しています。ISO15189とは臨床検査の品質と能力を保証する国際規格であり、検査精度の高い施設が認定されます。認定施設の検査結果は国際的に認められたしくみにもとづき運営され、検査結果に対する信頼性が向上します。検査部はこれからもISO15189の要求事項を遵守し、安心して良質な検査を受けて頂けるよう患者サービスの向上に努めてまいります。



### ◎スタッフ紹介

進化し続ける検査のプロフェッショナル集団です。

検査技術は日々進歩しており、各検査分野において高い専門性が要求されています。そのため、様々な学会や研修会に参加し、新しい知識・技術を習得するように努めています。検査部では、各種認定専門検査技師が、最先端の知識と技能をもって検査を行っています。



左から：戸田主任検査技師、駒井検査技師長、片山検査部長  
藤中主任検査技師、山岸主任検査技師



### ◎検査部の紹介



2階フロアの採血・採尿・生理検査受付  
「採血」「採尿」「生理検査」の受付を同時に行い、  
待ち時間の少ない検査から案内できる  
自動検査受付機を導入



フローサイトメトリーによる  
細胞表面マーカーの解析



シーケンサーによる遺伝子解析

### ◎メッセージ

検査部門は患者様の利便性に配慮し、「採血室」、「生理検査室」を2階の同じフロアに隣接して配置しています。検体検査部門は、最新の分析装置と搬送システムの導入により、TAT(検査報告時間)の短縮を図り、高度専門医療に対応するためにフローサイトメトリーによる細胞表面マーカーの解析や遺伝子検査を実施しています。また、救急医療に対応するために24時間365日体制で緊急検査を実施しています。



循環器内科部長(医療情報担当部長)  
**宮本 忠司**

適切な運営および安全な医療提供を行うために、多職種で運営されている院内委員会・部会です。

## クリニカルパス 委員会

### ご存じですか? クリニカルパス

#### 《構成メンバー》

診療担当副院長、診療部長を始めとして、各診療科の代表と看護部代表の他、薬剤部、検査部、放射線部、栄養管理部、リハビリテーション部、手術室、感染対策室の他、医事課や経営企画課などの事務部門も参加し、計53名で毎月クリニカルパスの改善について討議しています。本年度より、専従看護師を設置し、更なるクリニカルパスの運用促進を図っています。



クリニカルパス推進プロジェクトチーム

#### Ⅰ 委員会の紹介・特徴

医療関係者以外の方で、この言葉をご存じの方はほとんどおられないと思います。元々製造業の工程管理を視覚化し、標準化する“クリティカルパス”という手法を医療に応用し、検査や手術、ケアや投薬などの一連の診療過程を視覚化することによって、医療者間のみならず、患者さんやご家族とも診療過程を共有し、円滑かつ効率的な診療を行えるよう導入されたものです。これにより、医療の標準化が促進され、医療安全に繋がると考えられています。当院では医師、看護師のみならず、各医療部門と事務職を含めた全職種からなるクリニカルパス委員会を組織し、約300のクリニカルパスを作成、検討し、日常臨床に使用しています。



クリニカルパス委員会

#### Ⅱ 活動内容、取り組み、目標、開催状況など

当院ではクリニカルパスの導入を本年度の最重点課題に掲げ、運用促進に努めています。平成29年度は全入院に対して42%の適用率でしたが、今年度は60%の目標を掲げ、専従看護師による個別の診療科へのヒアリングやアドバイスを積極的に行っております。また、もう一つの重点課題であるPFM(入院前より患者さんへの聞き取りや入院経過の事前説明を行い、安心して療養していただける環境を整備しています)とクリニカルパスは不可分で、外来の段階からクリニカルパスを適用し患者様に説明できるよう、現在院内運用を整備中です。

#### Ⅲ 患者さんや地域医療機関へのメッセージ

当院では安心して入院療養していただけるようクリニカルパスの推進を図っておりますが、まだまだ十分とは言えない段階です。今後、一層の充実にも努めてまいりますので、ご意見やご助言を賜りましたら幸いです。尚、ホームページ上に一部の“患者用パス”を公開しておりますので、ご自身の入院に該当するパスがあれば、一度ご確認ください。

#### ◀ 患者用パス

入院診療計画書	乳癌腫瘍摘出術を受けられる		入院診療計画書(標準)
診療科 乳癌外科	標準	標準	標準
病名	乳癌(乳癌) [乳癌]	乳癌(乳癌) [乳癌]	乳癌(乳癌) [乳癌]
経過	入院前(手術前)に... 手術前(手術後)に... 術後(術後)に...	入院前(手術前)に... 手術前(手術後)に... 術後(術後)に...	入院前(手術前)に... 手術前(手術後)に... 術後(術後)に...
目的	乳癌の摘出... 術後の経過観察...	乳癌の摘出... 術後の経過観察...	乳癌の摘出... 術後の経過観察...
治療経過	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...
経過	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...
注意	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...
内服	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...
点滴	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...
説明	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...	術前(術前)に... 術中(術中)に... 術後(術後)に...



# キッズ参観日を開催しました

## ▶ 看護管理室 木村弘子

看護部では、毎年夏休みに働くお父さん・お母さんの様子をこどもたちが参観する“キッズ参観日”を行なっています。今年は8月21日22日に実施し25名のこどもたちが参加してくれました。



開会式では緊張とした表情で、平家院長の「お父さん・お母さんの働く病院の中をいっぱい見てください」のお話を聞き、こども用ユニフォームに着替えて院内探索に出発。

グループ毎にドクターカー・院長室・リハビリ室・屋外庭園を巡り、担当者からの説明を熱心に聞きました。

続いて、職場参観。お父さん・お母さんの働く職場に出向き、看護師長たちからお父さん・お母さんの働く姿を紹介してもらいました。

会議室に戻り、今日の思い出をお手紙やお絵かきで表現し、「ドクターカーがカッコよかった」「院長室の会議の机が大きかった」「お母さんのお仕事がかっこよかった」「赤ちゃんが可愛かった」と全員がみんなに披露しました。最後は箕浦副院長兼看護部長から「働くお父さん・お母さんを応援してください」と励ましのお言葉をいただきました。

アンケート結果から、「いつもここで働いているの?こんなお仕事してるの?と聞かれ、こどもも看護師への興味・関心を持たれた」「頑張ると言ってもらえると働く意欲に繋がった」「忘れられない貴重な体験ができ有意義な一日だった」などのたくさんの意見がありました。他部門からもご協力・ご支援をいただき、参加したこどもたち看護師たちにとって貴重な“キッズ参観日”でした。



▲ キッズ参観日風景



## セミナーのご案内

# 第19回 生活習慣病セミナー 特別企画

多くの方のご参加を!

## テーマ 『世界糖尿病デー』

【日 時】平成30年11月14日(水曜日) 13:00~16:00

【場 所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階) 参加費:無料(先着順・予約不要)

### 第1部 <世界糖尿病デーとは>

(13:00~ ●講 師:県立尼崎総合医療センター 糖尿病・内分泌内科科長 生活習慣病センター長 中村 嘉夫  
13:40) <当院における糖尿病患者教育セミナー紹介>

●講 師:県立尼崎総合医療センター 糖尿病看護認定看護師 恒吉 慶子

### 第2部 (14:00~) 各ブースや糖尿病医療相談コーナーを設置します!

★お問い合わせ: 外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科) 看護師 ☎ 06-6480-7000(代表)



スタッフのつづき

## ！ 選択メニューをリニューアルしました！！



### 栄養管理部 選択メニュー検討チーム

栄養管理部では患者様に安心安全で美味しい食事を提供するため、1日15名のスタッフで調理をしています。

一般食を提供している患者様には、週2日(木・金曜日)の夕食に選択メニューを実施しています。開院当初より季節感のない固定化されたメニューでしたが、今年度より検討チームを立ち上げ、8月より季節に応じた選択食の提供を始めました。

夏メニューには「冷麺」、「天ざるそば」を、秋以降には「ミートスパゲッティ」を予定しています。



今後も入院生活に安らぎを届けられるようチーム一丸となり、質の高い食事サービスが提供できるように頑張っていきます。今後とも新メニューの登場にご期待ください！

## 医療機関のみなさまへ



### 地域医療連携センターからのお知らせ

## FAXの誤送信にご注意ください！

当院にファックスを送られる際に誤った別のファックス番号に送信されてご迷惑をおかけしているケースがあります。

ご多忙中大変申し訳ございませんが、ファックスを送信される際には、ファックス番号のダブルチェック等、送信作業には慎重を期していただき、くれぐれもお間違いのないようお願いいたします。



### 今月の表紙写真



### 放射線治療装置 True Beam (Varian社製)の紹介

本装置は、従来の照射方法からIMRT(強度変調放射線治療)といった高精度放射線治療まで行える装置です。使用できるエネルギーを複数有しており、疾患に応じた治療を行えます。また装置に内蔵されているCTを使用することにより、非常に高い精度で放射線治療を行うことが可能です。さらに呼吸同期の機能も有しているため、肺癌・肝癌・膵癌など呼吸の動きがある疾患においても精度が高く、侵襲の少ない治療が可能となります。

## 編集後記

だんだんと涼しくなり、日が短くなってきました。台風の影響で気温が上がったこともあり、体調管理の難しい季節の変わり目となっていますね。体調不良の予防にはストレスを減らすことが重要です。私はリラックスタイムを設け、いつもより多めに睡眠をとることで、心と体のストレスを解消しています。皆さまは秋の夜長をどのようにお過ごしでしょうか？

(K.I.)



## 兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索